

## 事業実施報告書

|  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| 法人名  | 特定非営利活動法人霜里学校                         |
| 活動名  | 関係人口創出に向けた企業連携地域課題解決 -小川町ジャック in 川越駅- |
| 助成事業の種類  | 自立促進活動助成<br>豊かさ分野                     |
| <b>事業の目的</b>   |                                       |
| <p>本事業は、サステナブル/日本文化のコンテンツを有する小川町の周知プロモーション活動の一環として実施する。小川町は50年以上の有機農業の歴史、日本に3つのみのユネスコ無形文化遺産登録和紙づくり製法、埼玉県酒造組合会長を務める酒蔵等の様々な誘客可能なコンテンツを有している一方で、東京の大企業や埼玉県内での認知、また来町に至るまでのプロモーションが行えていない為、人口減少に対する持続可能な町に向けた関係人口の創出、町外からの売上確保に至れていない現状が存在している。本事業を通し、小川町内でのネットワークの強化及び町外企業及び町外在住者への小川町のコンテンツの発信を本事業を通して実施する事で、小川町の関係人口の創出、来町者の増加、移住促進、町外からの売上増の実現に対する一助とし、小川町の人口減少、伝統文の担い手不足、日本における企業のサステナブルアクションの推進等の関係者が自立した社会形成実現に向けたキッカケづくりとする。</p>                     |                                       |
| <b>事業で取り組んだ地域や社会の課題</b>  |                                       |
| <p>先述のように、小川町は、50年以上の有機農業の歴史やユネスコ無形文化遺産である和紙づくり、酒造等の地域資源を有しているが、町外への認知不足および戦略的なプロモーションの不十分さにより来町者増加や関係人口の創出に十分結び付いていない状況にある。加えて、人口減少の進行に伴い、農地や空き家の増加、伝統文化の担い手不足等の課題が顕在化している。一方で、企業におけるサステナブルアクションの需要は高まっているものの、地域課題と企業活動を接続する仕組みは十分に構築されていない。また、町内の若者である高校生には有機農業や和紙づくり、酒造などの重要性も周知されておらず、このことが人口流出へ結果的につながっていると考える。本事業は、地域資源の再評価と効果的な情報発信を通じて認知拡大と関係人口創出を図り、企業等を地域課題解決の主体として巻き込む持続可能な地域モデルの構築に取り組むものである。</p>  |                                       |
| <b>取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果</b>   |                                       |
| <p>本事業により、小川町の認知拡大と関係人口創出に具体的な成果を得た。川越コエドテラス(一番街周辺)での小川町ジャックイベント(小川の魅力を出張販売する企画)内での販売や情報発信、道の駅への販売や情報発信を通じ、販売や情報発信、道の駅への販売や情報発信を通じ、人の目に留まる年間100万人利用規模の施設を活用し、町外の関心層への周知を実現した。高校生によるお土産開発を開発する授業を行ったうえで、販売会やインバウンド向けツアーのトライアルを行い、地域資源や文化を体験する機会を提供したことで、関係人口の増加やファン化に繋がった。小川高校生徒は小川町観光協会、小川町観光案内所むすびめ、小川町内飲食事業者、埼玉りそな銀行 小川支店などの出店者とも関わり、普段はできない「大人と同じように小川町の物品で商売をする」という体験を提供し、起業や仕事の基本理解にも繋がった。総じて、来町者増加、関係人口拡大、地域課題解決、持続的な事業運営の基盤構築への次世代教育に大きく貢献した。</p> |                                       |
| <b>事業実施により達成した成果の具体的な内容</b>  |                                       |
| <p>本事業では、小川高校生が自分たちの町で栽培された有機野菜を販売する体験を通じ、地域とのつながりや仕事の実感を得る機会を提供した。高校生は来場者に自分の手で野菜を渡し、町の魅力や作物の価値や豊かさを直接伝えることで、販売の喜びや達成感を体験した。この学びは、起業や仕事の基本理解につながるとともに、地域資源の魅力や再評価する町外来訪者との交流を通して、小川町のファン化や関係人口拡大に寄与した。また、体験を通じた若者と町外企業・住民のつながりは、将来的な移住や地域でのビジネス活動、耕作放棄地活用など持続可能な地域経済形成の可能性を考え、広げることにつながっている。人口流出が著しいこの小川町で、「小川町にいたい」「一度都内に出てきても戻って来たい」と思える環境をみせることで、次世代育成となり持続可能なまちづくりへの実現に近づいた。</p> <p>・事業実施回数:2回 ・集客数:5,000人(2回合計) ・事業に従事した法人の内部スタッフの人数:計3名</p>       |                                       |

|  |
|--|
| <b>費用面での工夫</b>   |
| <p>地域団体(小川町韓国協会/小川高校/埼玉りそな銀行)からの協力については、各団体の課題感やニーズ等と紐づけて協力を仰ぐことにより、協力を貰わずに実施する事が可能となった。また各販売活動実施者は、独自に採算を取っていただく事で、イベントの場の提供のみで多くのスタッフがボランティアで参加していただく事になり、費用面の自走化が実現可能となった。また、本イベントでもっとも費用がかかった動画制作については、今後同様のイベントを行う際のスポンサー/協力事業者集めの際に活用につながり、本取組みの資産となるため、長期的にみた場合の費用対効果は高いと思われる。</p>  |
|  |
|  |
| <b>地域社会への還元</b>  |
| <p>小川町の魅力的な商品を販売する事で、インバウンド客を中心とした川越の観光客に対して小川町の魅力を伝える結果になったと考える。当日のみで本取組みを目にした数、接客した数を換算すると数千人規模と思われ、加えて今後動画視聴者等を併せると効果的なプロモーション活動に繋がったと思われる。特に、一商品ではなく、“小川町の人”や“小川町の雰囲気”を、接客/動画を通して感じていただけたと思われるため、観光人口のみならず、関係人口形成において大きな要因となる“小川町を盛り上がっている”という事が伝えられた事は、定期的な来町、各町内事業者へのリピート訪問＝ファン化のキッカゲになったのではないかとと思われる。</p>   |
|  |
|  |
| <b>今後どのように事業を継続し発展させるか</b>   |
| <p>本事業を継続・発展させるためには、弊団体の売上確保と実績づくり、支援プログラムの拡充が不可欠である。小川町の魅力や地域課題を町内住民や企業、町外住民や企業に再評価してもらい、有機農業や里山環境保全、和紙・日本酒など日本文化保全といった共同活動を通じたサステナブルアクションを高校生とともに実施することで、地域課題解決とコンテンツ維持に繋げる。さらに、今後は、イベントのための町外発信や来町導線設計を行い、関係人口の増加と来町者誘導を強化する。民間事業者が参加したくなる魅力的な取組みを設計する。そのうえでスタッフ配置や体制、スポンサー協力の課題を解消し、弊団体と小川町が自立的かつ持続可能に活動を発展させる基盤を構築する。また今後も今回のようなプログラムを継続し、高校生が自ら野菜を販売し、町内外の来訪者に手渡す体験を行うことで、地域とのつながりや仕事の実感を得る学びの場を創出し、次世代育成と関係人口拡大を促進する。</p> |
|  |

## 事業収支計算書

法人名 特定非営利活動法人霜里学校

### 1 収入の部

(単位:円)

| 項目         | 予算額<br>A | 決算額<br>B | 増減額<br>C=B-A | 備考 |
|------------|----------|----------|--------------|----|
| 助成金        | 500,000  | 496,000  | △ 4,000      |    |
| 自己資金       | 0        | 150      | 150          |    |
| 活動実施による収入等 | 34,500   | 28,350   | △ 6,150      |    |
| その他        | 0        | 0        | 0            |    |
| 収入の部 合計    | 534,500  | 524,500  | △ 10,000     |    |

### 2 支出の部

(単位:円)

| 項目      | 予算額<br>A | 決算額<br>B | 増減額<br>C=B-A | 備考 |
|---------|----------|----------|--------------|----|
| 会場費     |          | 0        | 0            |    |
| 通信運搬費   | 10,000   | 0        | △ 10,000     |    |
| 旅費交通費   |          | 0        | 0            |    |
| 消耗品費    |          | 0        | 0            |    |
| 備品費     |          | 0        | 0            |    |
| 委託費     | 464,000  | 464,000  | 0            |    |
| 謝金      | 40,500   | 40,500   | 0            |    |
| 人件費     | 0        | 0        | 0            |    |
| その他     | 20,000   | 20,000   | 0            |    |
| 支出の部 合計 | 534,500  | 524,500  | △ 10,000     |    |